**資料　1**

**令和7年度公社造林森林整備事業実施方針**

**【基本方針】**

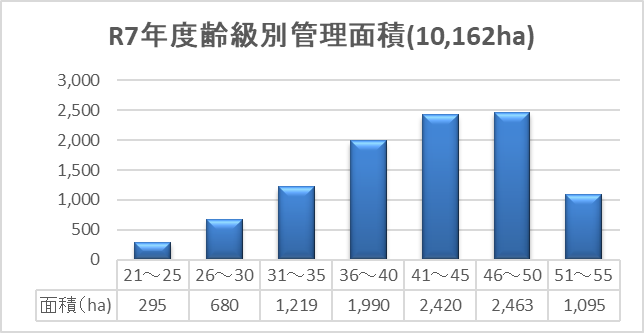
近年、異常気象や自然災害の激甚化・頻発化など、地球温暖化に起因するとみられる現象が顕在化しつつあり、森林が果たす公益的な役割（温室効果ガス吸収機能、水源涵養、土砂流出防止など）が益々高まっている。

新潟県農林公社では、個人の森林所有者では整備が進みにくい里山奥地等の条件不利地を中心に分収林事業を進め、これまで約１万ｈａの森林を造成してきており、森林が果たす公益的役割の中核を担っている。

当公社が、将来にわたって森林資源の有効活用と公益的機能の維持・増進の役割を果たしていくためには、中長期的な県民負担の低減や林業経営体の活性化が必要であり、当公社としては、利用間伐はもとより、カーボン・オフセットによる戦略的な収益拡大に取り組むとともに、林業事業体が受注しやすい環境整備・発注を進めるなかで、分収林の生育状況・環境に応じた適切な保全・整備を着実に進める。

**〔重点推進事項〕**

* 効率的・効果的な森林整備の実施
  + 適正な利用間伐事業、保育事業（除間伐・枝打ち等）、付帯施設事業
* 長伐期・針広混交林化の推進
  + 契約変更（分収林等施業転換推進事業）の取組
  + 長伐期・針広混交林化施業基準の確立に向け、検討会を開催する。
* 収益の確保
  + 利用間伐事業、カーボン・オフセット事業

****

**〔事業計画〕**

* 利用間伐事業・保育事業・付帯施設事業

・地位・地利別に定めた施業基準に即した整備を基本に、林木の生育や路網等の現場状況に応じて利用間伐、除間伐・枝打ち等の保育事業を適切に行う。

また、豪雨等により損傷した路網の補修・改良に取り組むとともに、クマ剥皮被害が一部地域で生じていることから、新たに鳥獣被害防止対策を行う。

・繁忙期を避けた時期の事業発注など、引き続き事業体 が受注しやすい環境を整えながら事業体と綿密に協議を行い、企画提案型利用間伐の実施面積の拡大を図る。

・林業専用道について、事業者・県等と連携して具体化を進めるとともに、アクセス道の改良についても県の協力をもらいながら市町村に要請を行っていく。

* 契約変更業務

・将来にわたる森林の公益的機能の持続的な発揮を目的として、伐期を延長した上で針広混交林化施業への転換を図るべく契約変更と施業基準の確立に取り組む。

・契約変更については、林地台帳の活用や地元関係者からの聞き取りにより、所在不明の契約者の情報収集を行うとともに、不同意者については承諾を得られるよう再説明に努める。また、担当者を増員したうえで地上権設定登記業務を進める。

（分収林等施業転換推進事業）

・針広混交林化に向けた具体的な施業の実施方法等について方向性を明確化するため、令和７年３月に予定する第１回に続き検討会を開催し、令和７年度内を目途として今後の指針をとりまとめる。





* カーボン・オフセット事業
  + 「SDGsにいがた」への参画、環境保全やSDGsに関心のある企業をターゲットとした購入案内等を行う。
  + 新規プロバイダー獲得に向けた営業・仲介依頼を行う。
  + 住友林業プラットフォーム「森かち」を活用した全国への情報発信をする。
  + エネオス株式会社に続く大型連携協定に向けた企業への営業・公募等を行う。

上記により戦略的な事業収益の拡大に取り組む。

また、令和４年度に締結したエネオス株式会社との協定に基づくJ―クレジットについてモニタリング報告書の作成、審査機関による検証に取り組み、令和７年度内のクレジット発行を目指す。その販売収益は分収林の公益的機能の維持・増進に向けた分収林の育成・管理に活用していく。



○その他（連絡事項）

* ホームページに下記項目を掲載します。

・第11次5カ年計画

・令和7年度林業関係事業説明会（森林・林業課事業）資料

メールアドレス　：　[rinsei@niigata-nourin.jp](mailto:rinsei@niigata-nourin.jp)

ホームページ　　：　<http://www.niigata-ringyou.jp>